

電磁波妨害評価試験装置の導入のご案内

この度、平成28年度JKA機械工業振興補助事業により、当センターご利用の皆様の試験ニーズの高い電磁ノイズ試験(EMC試験)が可能な試験装置を導入しました。電気・電子機器や車載機器に必要な電波暗室を用いた本格的なEMC試験の前の予備試験や強電界(200V/m)によるノイズ耐性試験などが可能となります。今後、当センターの依頼試験や機器貸付でご利用いただき、製品開発や品質管理などにお役立ていただきますようご案内します。



電磁波妨害評価試験装置全景



導入機器概要

電磁波妨害評価試験装置

○主な導入機器

- ・G-TEMセル(TESEQ社製 GTEM 750)
- ・高周波パワーアンプ(㈱アールアンドケー社製 A009K251-5757R、A080M102-5757R、GA701M282-4850R-LCA)
- ・BCIプローブ(FCC社製 F-140)
- ・結合・減結合回路網(TESEQ社製 CDN M016S M2/M3)
- ・EMクランプ(FCC社製 F-203I-A-23mm)
- ・スペクトラムアナライザ(Keysight Technologies社製 N9010A-507)
- ・擬似電源回路網(Schwarzbeck社製 NSLK 8127)

○試験項目、周波数、試験レベルなど

- ・放射性イミュニティ試験
100kHz~1GHz:200V/mまで、80MHz~2.7GHz:10V/mまで
- ・BCI法イミュニティ試験 1MHz~1GHz:200mAまで
- ・伝導性イミュニティ試験 150kHz~80MHz:10Vまで
- ・放射性エミッション測定 30MHz~6GHz
- ・雑音端子電圧測定 9kHz~30MHz
- ・妨害電力測定 30MHz~300MHz

第2回SiC基礎セミナー(2月7日開催)に於いて見学会を実施しました。

車載機器などに必要な電磁ノイズ試験について

マイクロウェーブファクトリー株式会社 第2技術営業部長 白川 浩 氏

車載機器に要求される電磁ノイズ試験(EMC試験)について、主な国際規格の概要や自動車メーカー毎に採用の試験方法が違うことなどをご説明いただくとともに、今回センターに導入の試験装置によって、車載機器だけではなく民生機器の予備的な試験にも活用できることをお話しいただきました。



※上記装置のご利用につきましては、当センター 応用技術課 電気・電子担当にお問い合わせください。

お問い合わせ先

京都府中小企業技術センター 応用技術課 電気・電子担当 TEL:075-315-8634 FAX:075-315-9497 E-mail:ouyou@mtc.pref.kyoto.lg.jp